

令和5年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財) さっぽろ青少年女性活動協会	所管課	子) 子どもの権利推進課
基本財産	10,000千円	記入者	担当 豊岡 電話 011-211-2942
設立年月日	昭和55年(1980年) 4月1日	本市出資額	2,500千円 (出資割合 25.0%)
設立・出資目的	人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。	出資年月日	昭和55年(1980年) 4月1日
沿革		昭和53年	札幌グループ・ワーク協会設立
		昭和55年	財団法人札幌市青少年婦人活動協会設立
		平成11年	札幌市内児童会館全館管理運営業務受託
		平成15年	財団法人札幌市青少年女性活動協会に名称変更
		平成21年	札幌市滝野自然学園を自主運営施設として管理運営
		平成25年	公益財団法人に移行
代表者	理事長(常勤) 本間 芳明 (市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (25.0%) ② (公財) さっぽろ青少年女性活動協会 (75.0%) ③ ④ ⑤ ⑥		
団体所在地	〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10		電話 011-671-4121

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 地域活動等事業 (6ページ)	② 若者支援総合センター・若者活動センター管理運営事業(7ページ)
野外活動や子どもの権利に関する事業を通じて青少年の健全育成を行う。	青少年の健全育成を図るため困難を抱える若者の自立支援のほか、若者の社会参加を促す事業展開を行う。
③ 札幌市定山溪自然の村管理運営事業(8ページ)	④ こども劇場管理運営事業(9ページ)
野外教育施設での体験を通して青少年の健全育成を図る。	児童文化を発信する拠点として青少年の健全育成を図る事業展開を行う。
⑤ 児童会館・ミニ児童会館管理運営業務(10ページ)	⑥ 札幌エルプラザ公共4施設管理運営事業(11ページ)
青少年の健全育成を図るため放課後児童や地域住民とともに事業展開を行う。	市民活動及び男女共同参画事業を通して青少年女性の社会参加事業を展開する。
⑦ 青少年山の家管理運営事業(12ページ)	⑧ 北方自然教育園管理事業(13ページ)
野外教育施設での体験を通して青少年の健全育成を図る。	野外教育施設での体験を通して青少年の健全育成を図る。
(2) 総支出に占める事業支出割合 99.9% (主要事業支出合計 7,705,160千円 ÷ 総支出 7,705,722千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	青少年の健全育成や青少年女性の社会参加の促進のほか、社会教育の推進や市民活動の振興など、法人の目的達成に向け、横断的事业展開や幅広い年齢層を対象とした効果的な事業展開を図っている。その中でも、これまで蓄積された多様な市民を対象とした事業ノウハウや他部門・他団体と連携を強化し、更なる高い事業成果を見出す必要がある。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	令和4年度からは、「千歳市青少年会館」運営業務が開始されるなど、急速に事業規模が拡大している状況である。その中でも、デジタル技術を活用した定例業務の省力化を推進し、社会課題や地域課題の解決に向けて、今後さらなる社会資源の活用、地域との積極的な対話・連携を進めていく必要がある。

3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成		役員の任期			
役員					8	10歳代	0	40歳代	208	理事	2年
常勤理事	2	0	1	0		20歳代	184	50歳代	172	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	174	60歳代	16	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事			3			平均年齢		40.2 歳		理事長	R5.6
非常勤監事			2							副理事長	
職員					2023	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	0	0	26	0		R03.4.1時点	2116				
常勤一般職	0	0	728	373		R04.4.1時点	2081				
非常勤職員			896								

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R3年度決算	R4年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	7,350,808	7,871,971	(100.0%)	(+521,163)
			経常費用(b)	7,204,048	7,705,722		(+501,674)
			うち管理費等(c)	42,129	54,322	(0.7%)	(+12,193)
			うち人件費(d)	5,043,227	5,196,267	(66.0%)	(+153,040)
			当期経常増減額(e)	146,760	166,249		(+19,489)
			当期正味財産増減額(f)	208,722	170,005		(▲ 38,717)
	貸借対照表	資産	資産(g)	2,328,310	2,556,335		(+228,025)
			流動資産(h)	1,143,760	1,249,917		(+106,157)
			固定資産(i)	1,184,550	1,306,418		(+121,868)
			うち基本財産(j)	10,000	10,000		(0)
		負債	負債(k)	1,422,909	1,479,310		(+56,401)
			流動負債(l)	729,152	780,338		(+51,186)
			固定負債(m)	693,757	698,972		(+5,215)
			正味財産(n)	905,401	1,077,025		(+171,624)
借入金残高(o)	0	0		(0)			

R4年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a)	主に児童会館及びミニ児童会館において、放課後児童クラブに従事する職員に対する処遇改善、光熱水費の高騰に係る契約額の増額改定、また、コロナ禍による施設利用自粛ムードが和らいだことによる施設利用の回復等の要因により、前年度比で521,163千円増加した。
(d)	職員給与のベースアップ及び退職金支給職位の拡大等の処遇改善に伴い、人件費が153,040千円増加した。
(i)	第5期指定管理期間に向けて、社会情勢の変化によって物価が高騰し、施設維持や物品調達に係る諸経費が大幅に変動することを見込む費用として、また、業務の効率化や省力化等を目的とした業務のデジタル化に係る各種システム保守費用として「特定費用準備資金」を2件合計118,000千円積み立てたことにより、固定資産が前年度比で121,868千円増加した。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	1,074	0	(▲ 1,074)
市委託料	6,806,994	7,111,168	(+304,174)
市業務委託料	2,200,898	2,344,605	(+143,707)
うち随意契約	2,200,898	2,288,609	(+87,711)
市指定管理費	4,606,096	4,766,563	(+160,467)
うち非公募	4,342,934	4,520,026	(+177,092)
(参考) 再委託額	377,803	439,249	(+61,446)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(5.6%)	(6.2%)	(+0.6%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	124,500	183,776	(+59,276)
うち非公募	75,760	115,533	(+39,773)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	895,401	1,067,025	(+171,624)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	38.9%	42.1%	(+3.2%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	156.9%	160.2%	(+3.3%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	130.8%	121.3%	(▲9.5%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	3,474千円	3,783千円	(+309千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	68.6%	66.0%	(▲2.6%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	20千円	26千円	(+6千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.6%	0.7%	(+0.1%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	90.1%	88.0%	(▲2.1%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	94.3%	92.7%	(▲1.6%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

健全性の評価

非常に高い
 高い
 概ね健全
 やや低い
 低い

理由
 健全性について、債務超過及び累積欠損の状態になく、自己資本比率も昨年度対比で3%以上高くなっている。
 生産性及び自立性について、千歳市青少年会館の新規受託やコロナ禍によって中止となっていた各種イベントが再開され受託数が増加したことにより、職員一人当り経常収益が増加したとともに、市依存度及び市財政関与割合は減少しており、自立性が高まってきている状況である。なお、デジタル推進に係る部門の新規設置や各種システムサーバの移設等管理費が増加したことにより、職員一人当り管理費及び管理費率が微増となっている。

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○現行出資比率の維持						
①	市出資金	目標	2,500千円	2,500千円	2,500千円	
		実績	2,500千円	2,500千円	2,500千円	
		評価	達成	達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(2)人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○現行水準の維持						
①	市職員の派遣数	目標	0名	0名	0名	
		実績	0名	0名	0名	
		評価	達成	達成		
②	市職員の役員への就任数	目標	0名	0名	0名	
		実績	0名	0名	0名	
		評価	達成	達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○団体の特性を活かした事業の展開						
①	他部門との連携事業件数	目標		3件	5件	5件
		実績	1件	17件	34件	
		評価		達成	達成	
②	滝野自然学園の内部利用件数	目標		5件	15件	30件
		実績	3件	11件	38件	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○自主事業の拡充による自立性の向上						
①	札幌市以外からの事業収益額	目標		350,000千円	370,000千円	390,000千円
		実績	41,503千円	426,975千円	498,695千円	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○「人材育成の基本方針」に基づく研修の充実						
①	職員研修の実施回数	目標		25回	30回	30回
		実績	20回	30回	55回	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○雇用の安定化への取組						
①	非正規職員から正規職員への転換人数	目標		5名	5名	5名
		実績	3名	11名	13名	
		評価		達成	達成	
②	児童会館部門における社会人経験者採用人数	目標		5名	5名	5名
		実績	5名	11名	21名	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○障がいのある方への自立支援						
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標		20件	21件	22件
		実績	20件	31件	70件	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	https://svaa.jp			
Eメールアドレス				
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書	<input checked="" type="checkbox"/> 予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input checked="" type="checkbox"/> その他（	）			
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：事業概要、こども情報誌「あ・そ・ぼ」、各施設パンフレット、広報さっぽろ等				

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和5年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 地域活動等事業

1. 事業概要	事業所管課：子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課	担当：豊岡	電話：011-211-2942
(1)事業内容	①滝野自然学園運営業務（自主管理施設） ②自主キャンプ・イベント事業 （たきの森のようちえん、たきの森のがっこう他） ③受託キャンプ事業 ④企画提案イベント事業 ⑤受託指導事業 ⑥江別・岩見沢地域若者サポートステーション （厚生労働省より受託：令和4年4月1日～令和5年3月31日） ⑦さっぽろまなびのサポート事業「まなべえ」 ⑧子どものくらし支援コーディネーター事業 ⑨千歳市児童館・学童クラブ運営業務 ⑩千歳市青少年会館運営業務		市委託料(随意契約) 36,254 市委託料(一般競争入札) 55,996
(2)事業目的	多様な体験活動による青少年の健全育成と社会参加、市民や企業が相互に連携できるネットワーク作りや情報収集・提供の拠点を旨とする等、市民活動の振興を目的とする事業		
(3)事業開始	昭和55年度（1980年度）		

2. 実施結果

(1) 事業収支（単位：千円）	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		484,301 (6.6 %)	564,533 (7.2 %)	(+80,232)
	市補助金・交付金・負担金	150	0	(▲150)	
	市業務委託料	80,123	92,250	(+12,127)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	403,820	472,054	(+68,234)	
	その他収入	208	229	(+21)	
費用(支出)		497,446	571,719	(+74,273)	
	事業費	488,304	559,321	(+71,017)	
	管理費等	9,142	12,398	(+3,256)	
収支差		▲13,145	▲7,186	(+5,959)	
収支比率		97.36%	98.74%	(+1.39%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	自主キャンプ・イベント事業の開催	39回	33回	40回	40回
②	受託キャンプ事業の開催	29回	8回	27回	5回
③	企画提案事業(プロポーザル)への参加と獲得	1/1回	3/3回	4/4回	3/3回
④	受託指導事業の開催	49回	44回	73回	50回
⑤	滝野自然学園の利用団体数	78団体	100団体	99団体	100団体
⑥	子どものくらし支援コーディネーター事業運営(コーディネーター人数)	7人	7人	7人	7人
⑦	千歳市児童館・学童クラブ利用者総数	141,596人	159,500人	194,270人	201,800人
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	自主キャンプ・イベント事業参加人数	786人	848人	931人	1,170人
②	受託キャンプ事業参加人数	1,562人	370人	1,882人	800人
③	受託指導事業参加人数	2,663人	1,700人	2,864人	2,000人
④	滝野自然学園利用人数	2,707人	2,400人	3,919人	3,000人
⑤	さっぽろまなびのサポート事業参加人数	476人	600人	494人	600人
⑥	千歳市児童館・学童クラブ事業プログラム参加者総数	3,078人	4,470人	8,385人	11,440人

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 前年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の制限が続く中での事業運営となったが、制限緩和に伴い中止していたプログラムの再開などによって、活動指標、成果指標ともに概ね目標値を上回る実績となったことは評価できる。しかし、実績が目標値を下回る指標もあることから、事業対象者のニーズを的確に把握し、事業実施者の持つノウハウを生かした新たな取組やPR活動などにより、青少年の事業参加への機会をより確保するなど、今後も一層の努力を期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 収支比率は改善しているものの収支差はマイナスとなっている。参加者数の増加により、自主事業収入が前年度に比べ増加している点は評価できるが、今後も事業の効率化・見直し等に努め、収支比率のさらなる改善に向けた取組を実施していただきたい。

事業評価 (2) 若者支援総合センター・若者活動センター管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 子ども未来局子ども育成部子どものくらし・若者支援担当課	担当： 渡邊	電話： 011-211-2947
(1)事業内容	①札幌市若者支援総合センター (1) 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者の自立についての情報の収集及び提供並びに相談に関する事。 (2) 若者の自立を支援する関係機関との連携に関する事。 (3) 若者の自立を支援するための講演会、講習会等の開催に関する事。 (4) 若者の自立、若者の社会参加及び若者同士の交流についての調査、研究及び企画立案に関する事。 (5) 若者の社会参加及び若者同士の交流についての情報の収集及び提供、相談並びに講演会、講習会等の開催に関する事。 (6) 総合センターの施設の利用に供すること。 ②札幌市若者活動センター4階(アカシア・ポプラ・豊平・宮の沢) (1) 若者の自立を支援するための講演会、講習会等の開催に関する事。 (2) 若者の社会参加及び若者同士の交流についての情報の収集及び提供、相談並びに講演会、講習会等の開催に関する事。 (3) 活動センターの施設の利用に供すること。 (4) その他若者の社会参加及び若者同士の交流を支援するために必要な事業。		市指定管理費(非公弊) 175,412 市委託料(随意契約) 7,413
(2)事業目的	若者の社会的自立を総合的に支援すること。		
(3)事業開始	平成22年(2010年) 4月1日		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位: 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		242,712	248,239	(+5,527)
		(3.3%)	(3.2%)		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	7,432	7,413	(▲19)	
	市指定管理費	188,364	175,412	(▲12,952)	
	市施設利用料金収入	9,800	23,655	(+13,855)	
	自主事業収入(補助金除く)	36,849	41,026	(+4,177)	
	その他収入	267	733	(+466)	
費用(支出)		233,692	255,742	(+22,050)	
	事業費	227,957	248,807	(+20,850)	
	管理費等	5,735	6,935	(+1,200)	
	収支差	9,020	▲7,503	(▲16,523)	
	収支比率	103.86%	97.07%	(▲6.79%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	施設の利用促進(貸室稼働率)	56.0%	70.0%	61.4%	70.0%
②	youth+NET登録団体総数	921団体	500団体	1,353団体	500団体
③	地域若者サポーターの新規獲得者数	27人	50人	27人	50人
④	交流促進プログラムに参加した若者の延べ人数	4,029人	6,500人	5,804人	5,000人
⑤	年間利用者総数(新規)	105,806人	230,000人	218,232人	230,000人
⑥	年間事業プログラム参加者総数(新規)	30,303人	40,000人	41,251人	40,000人
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	若者支援施設に登録した若者等の人数	8,137人	11,000人	11,873人	16,000人
②	若者支援施設の若者の延べ利用者数	84,285人	180,000人	162,871人	200,000人
③	新規に登録した引きこもり・ニートと呼ばれる若者等の人数	304人	400人	392人	400人
④	進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者の人数	228人	345人	312人	345人
⑤	社会活動及び育成プログラムに参加した若者の延べ人数	2,169人	3,000人	1,872人	600人
⑥	利用者アンケートにおける総合満足度	98.2%	98.0%	98.0%	98.0%
⑦	利用者アンケートにおける接遇に関する満足度	99.3%	98.0%	97.0%	98.0%

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動指標の多くが目標を下回る結果となったものの、令和3年度実績からは着実に改善をしており、特に⑤年間利用者総数(新規)は2倍を超える伸び率となった。また、事業目的を達成するため、NPOや地域団体と協働し若者の居場所づくりを進めるなど、積極的な事業展開を行っている。 引き続き、目まぐるしく変化する社会状況に応じた施設運営が行えるよう事業の充実を図っていただきたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入の減などが影響し、単年度収支はマイナスとなった。指定管理期間全体で安定した収支状況となるよう、事業の効率化・見直しを行い経費節約に努めるとともに、貸室稼働率の改善等による収入の確保に努めていただきたい。

事業評価 (3) 札幌市定山溪自然の村管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課：教育委員会生涯学習推進課	担当：三井	電話：011-211-3872
(1)事業内容	①施設（札幌市定山溪自然の村）の維持管理業務 ②施設における事業 ・自然体験活動のため、自然の村を使用させ、必要な指導助言を行う業務（工作、森の観察会など） ・自然体験活動の普及振興に関する業務（ファミリーキャンプ、人材育成事業など） ・自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する業務（ビクターコーナー、団体誘致） ・その他自然の村の設置目的を達成するために必要な業務（体験活動に関わるレンタル物品および販売物品の提供） ③施設（コテージ、テントハウス等）の使用承認等に関する業務 等		市指定管理費(公費) 79,288
(2)事業目的	自然環境のなかで行う自然観察、野外活動その他の活動を等して市民の自然に対する関心と理解を深めるとともに、市民の健康の増進及び交流の促進を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	平成10年(1988年) 6月		

2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		97,781	96,744	(▲ 1,037)
		(1.3 %)	(1.2 %)		
	市補助金・交付金・負担金	450	0	(▲ 450)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	82,898	79,288	(▲ 3,610)	
	市施設利用料金収入	10,915	13,564	(+2,649)	
	自主事業収入(補助金除く)	410	430	(+20)	
	その他収入	3,108	3,462	(+354)	
費用(支出)		93,363	95,758	(+2,395)	
	事業費	91,125	93,196	(+2,071)	
	管理費等	2,238	2,562	(+324)	
	収支差	4,418	986	(▲ 3,432)	
	収支比率	104.73%	101.03%	(▲ 3.70%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	自然体験活動のため、自然の村を使用させ、必要な指導助言を行う業務	6事業11回	10事業75回	7事業42回	9事業144回
②	自然体験活動の普及振興に関する業務	14事業28回	14事業35回	12事業23回	7事業55回
③	自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する業務	2事業2回	2事業2回	2事業2回	2事業2回
④	その他自然の村の設置目的を達成するために必要な業務	7事業11回	5事業5回	5事業11回	9事業18回
⑤	施設ボランティア登録者数	11人	15人	11人	20人
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	利用者数	12,056人	16,700人	13,953人	18,800人
②	利用件数(利用施設数)	4,795	5,000	5,455	6,000
③	事業参加者数	3,121人	4,500人	4,204人	4,500人
④	施設ボランティア活動回数	0回	10回	0回	40回
⑤	利用者アンケートにおける総合的な満足度	99.0%	98.0%	99.1%	98.0%
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度は感染症対策として実施していた施設の利用制限を段階的に解除するとともに中止していた事業を再開した結果、どの事業も定員を超える応募があったが、利用者のニーズを的確に捉え、事業目的に沿って関係機関・団体と連携しながら事業実施に努めたことで高い利用者満足度を維持することができている。一方で、施設における事業に対し、これまで以上の需要の高さが伺えることから、事業内容の再考や新たな活動プログラムの開発など、魅力的な施設・事業へのさらなる発展を図っていただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支状況は一部で施設休業等の影響を受ける結果となったが、収入面では引き続き豊富な薪の種類を取り揃え、販売方法を工夫するなど収入増に努めている。また、支出面では主に委託費やプログラム講師への謝礼の削減等に努めており、指定期間全体で安定した収支状況となるよう、引き続き事業の効率化・見直しを行い節約執行に努めるとともに、閑散期の利用促進や自主事業の拡充等により、収入の確保に努めていただきたい。

事業評価 (4) こども劇場管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課	担当： 恵茂田	電話： 011-211-2942
(1)事業内容	①札幌市こども人形劇場「こぐま座」・札幌市こどもの劇場「やまびこ座」施設の維持管理業務 ②人形劇等の制作・発表の場の提供、人形劇等の制作に関する指導及び講習会等の開催、その他設置目的達成のための必要な事業 <1>公演事業 <2>劇団支援事業・各種講座等の育成事業 <3>子どもの舞台表現活動の推進 <4>地域との共生 <5>アウトリーチ活動 <6>中島児童会館協働事業 <7>子ども文化事業（展示等） <8>子どもに関わる舞台活動及びサークル活動についての育成等の調査研究 <9>劇場利用申込み及び案内業務 <10>広報事業		市指定管理費(非公費) 72,176
(2)事業目的	人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他活動に資する		
(3)事業開始	昭和63年(1988年度)		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		97,217 (1.3 %)	110,498 (1.4 %)	(+13,281)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	73,638	72,176	(▲ 1,462)	
	市施設利用料金収入	1,774	3,554	(+1,780)	
	自主事業収入(補助金除く)	262	425	(+163)	
	その他収入	21,543	34,343	(+12,800)	
費用(支出)		98,642	110,669	(+12,027)	
	事業費	96,419	107,741	(+11,322)	
	管理費等	2,223	2,928	(+705)	
	収支差	▲ 1,425	▲ 171	(+1,254)	
	収支比率	98.56%	99.85%	(+1.29%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	公演スケジュールの充実(ステージ数)	289回	400回	396回	400回
②	新規劇団などの育成(出演者数)	6,979人	13,500人	10,575人	13,500人
③	施設の満足度・期待度(利用者数(出演者・観客・部屋利用者等合計))	48,182人	70,000人	67,941人	70,000人
④	各種事業の充実(事業参加数)	18,885人	24,000人	21,614人	24,000人
⑤	地域へのアウトリーチ事業の充実(事業参加者数)	3,132人	3,000人	4,626人	4,000人
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	利用料金収入	4,382千円	2,250千円	6,803千円	3,750千円
②	ステージ数	289回	400回	396回	400回
③	総入館者数	48,182人	70,000人	67,941人	70,000人
④	観客者アンケートにおける満足度	99.2%	85.0%	97.0%	90.0%
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を目的とした収容率の制限等のため、活動指標・成果指標ともに目標に届かない部分もあったが、公演回数や新規劇団等の育成及び事業参加者数など活動指標では、すべての項目で前年度よりも大幅に増加している。加えて、観客者アンケートにおける満足度は前年度と同様、高い水準を維持しており、運営状態は良好であると評価できる。 今後も、地域子ども達に寄り添った札幌市の児童文化の拠点施設として、より魅力的な創意工夫ある事業を展開していくことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 公演数を増加させたことに伴い謝礼金等の支出が増えたものの、施設の利用料金や人形劇制作業務・人形劇指導等からなる企画事業収益は前年度より増加しており、収支差も前年度より改善している。次年度以降も、安定的な運営に向け、収支の改善を図るなど一層の努力を期待する。

事業評価 (5) 児童会館管理運営事業・ミニ児童会館管理運営業務

1. 事業概要	事業所管課：子ども未来局子ども育成部放課後児童担当課	担当：松岡	電話：011-211-2989
(1)事業内容	<p>【児童会館】(109館)</p> <p>①施設・設備の維持管理業務</p> <p>②遊びを通じた青少年の健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ(保護者の就労などにより、放課後留守家庭となる小学校1～6年生が対象) ・中・高校生夜間利用(105館で実施) ・子ども運営委員会(全館で実施。子どもたちの開館運営への参画) ・各種つどい、クラブ・サークル活動、野外活動、自主活動、合同行事、読み聞かせ推進等 <p>③親子の交流の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン(102館で実施。就学前の乳幼児と保護者を対象) <p>④地域との合同行事の実施</p> <p>⑤使用承認等業務</p> <p>【ミニ児童会館】(90館)</p> <p>①管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会館がない小学校区を対象に、小学校の余裕教室等を活用して開設。当該小学校児童の健全育成を図ることを目的として、児童会館補充事業を行う。 <p>②遊びを通じた青少年の健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種つどい、クラブ・サークル活動、野外活動、自主活動、合同行事、読み聞かせ推進等 		市指定管理費(非公弊) 4,010,540 市委託料(随意契約) 2,206,603
(2)事業目的	児童の文化的素養を培い、その福祉を増進する。 児童クラブ：留守家庭児童の安全確保と健全育成を図るため。		
(3)事業開始	【児童会館】昭和24年度(1949年度) 【ミニ児童会館】平成9年度(1997年度)		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		5,909,830 (80.4%)	6,252,316 (79.4%)	(+342,486)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	2,078,150	2,206,603	(+128,453)	
	市指定管理費	3,810,899	4,010,540	(+199,641)	
	市施設利用料金収入	14,749	21,672	(+6,923)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	18	(+18)	
	その他収入	6,032	13,483	(+7,451)	
費用(支出)		5,721,807	6,050,335	(+328,528)	
	事業費	5,584,837	5,762,409	(+177,572)	
	管理費等	136,970	287,926	(+150,956)	
	収支差	188,023	201,981	(+13,958)	
	収支比率	103.29%	103.34%	(+0.05%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	【児童会館・ミニ児童会館】児童クラブ出席児童数(累計)	2,215,427人	2,335,000人	2,535,989人	2,800,000
②	【児童会館・ミニ児童会館】開館日数(累計)	58,330回	58,506回	58,376回	58,506回
③	【児童会館・ミニ児童会館】研修実施回数	155回	150回	158回	150回
④	【児童会館・ミニ児童会館】事業実施回数	23,454回	25,000回	35,960回	37,000回
⑤	【児童会館・ミニ児童会館】障がい児の受入れ検討会議実施回数	29回	45回	46回	45回
⑥	【児童会館】中・高校生の夜間実施回数(累計)	4,061回	8,010回	8,657回	8,850回
⑦	【児童会館】子育てサロン実施回数(累計)	4,621回	8,770回	9,278回	9,500回
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	【児童会館・ミニ児童会館】児童クラブ登録児童数	25,113人	23,000人	26,345人	27,000人
②	【児童会館・ミニ児童会館】利用者数(累計)	2,726,976人	2,786,000人	3,304,676人	3,383,000
③	【児童会館・ミニ児童会館】障がい児受入れ人数	1,065人	1,100人	1,197人	1,300人
④	【児童会館】中・高校生の夜間利用者数(累計)	16,723人	25,000人	35,761人	36,300人
⑤	【児童会館】子育てサロン参加組数(累計)	39,026組	51,000組	77,305組	79,000組
⑥	【児童会館】子育てサロン相談件数(累計)	546件	800件	847件	900件
⑦	【児童会館・ミニ児童会館】利用者アンケート総合的満足度	87.0%	80.0%	87.9%	80.0%

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことから、児童会館全体として利用者数が増加しており、ほぼすべての活動指標及び成果指標の目標を達成できている。また、利用者アンケートの結果においては、非常に高い評価を得ていることから、運営状況は良好だと判断できる。 今後も、新たな生活様式や、利用者のニーズを踏まえた上で、全事業における目標達成を目指し、引き続き児童会館としての役割を果たすよう努めていただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 良好な収支状況を良好な収支状況を維持できていることから、今後もバランスの取れた予算執行に努めて欲しい。

事業評価 (6) 札幌エルプラザ公共4施設管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課： ① 1～3、4(1)(5)、5：市民文化局男女共同参画室男女共同参画課 ② 4(2)：市民文化局市民生活消費生活課 ③ 4(3)：市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課 ④ 4(4)：環境局環境都市推進部環境政策課	担当： ① 本條 ② 菊地 ③ 米田 ④ 佐野	電話： ① 011-211-2962 ② 011-211-2245 ③ 011-211-2964 ④ 011-211-2877
(1)事業内容	1 統括管理業務 2 施設・設備等の維持管理に関する業務 3 複合施設総合管理業務 4 事業の計画及び実施に関する業務 1) 札幌市男女共同参画センター 2) 札幌市消費者センター 3) 札幌市市民活動サポートセンター 4) 札幌市環境プラザ 5) 札幌エルプラザ情報センター 5 付随業務		市指定管理費(非公募) 261,898 市委託料(随意契約) 38,339
(2)事業目的	① 男女共同参画の推進に関する活動の総合的な拠点施設として設置。 ② 消費生活に関する情報の収集及び提供、相談等を行い、もって市民の消費生活の安定及び向上を図るために設置。 ③ 市民活動の総合的な促進を図ることにより、活力ある地域社会の実現に寄与するために設置。 ④ 環境に優しい社会を創造し、地球環境の保全に貢献していくため、環境の保全に関する活動の総合的な拠点として設置。		
(3)事業開始	平成18年度(2006年度)		

2. 実施結果

(1) 事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		362,891 (4.9%)	381,068 (4.8%)	(+18,177)
事業収支(単位:千円)	市補助金・交付金・負担金	24	0	(▲ 24)	
	市業務委託料	35,193	38,339	(+3,146)	
	市指定管理費	270,033	261,898	(▲ 8,135)	
	市施設利用料金収入	49,437	66,652	(+17,215)	
	自主事業収入(補助金除く)	2,115	11,763	(+9,648)	
	その他収入	6,089	2,416	(▲ 3,673)	
	費用(支出)	345,869	386,516	(+40,647)	
	事業費	337,565	376,419	(+38,854)	
	管理費等	8,304	10,097	(+1,793)	
	収支差	17,022	▲ 5,448	(▲ 22,470)	
収支比率	104.92%	98.59%	(▲ 6.33%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 市民活動相談に係るプッシュ型広報の実施		24回	24回	25回	24回
② 男女共同参画の啓発(若年層、WLB、ジェンダー平等)の取組		51回	40回	72回	
③ 環境活動の機会提供		45回	50回	56回	55回
④ 市民活動啓発事業		9回	9回	9回	9回
⑤ 男女共同参画に関わるロールモデル、事例の発信					10件
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 男女共同参画センター有料貸室利用率(控室除)		49.3%	65.0%	76.4%	
② 利用者アンケートにおける総合的な満足度		91.0%	86.0%	95.0%	86.0%
③ 市民活動相談件数		542件	600件	612回	650回
④ 男女共同参画、市民活動、環境保全、消費生活の意識啓発(情報センターで実施している上記に係る啓発イベントの実施回数)		33回	12回	29回	
⑤ 利用者総数					462,000人
⑥ 情報センター利用後、エルプラザの施設・事業を利用・参加した人数					30人

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 活動指標及び成果指標については全項目で目標を達成しており、利用者の総合満足度及び4分野の意識啓発件数は目標を大きく上回っていることから、一定の成果は上がっているものと評価できる。 また、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2～3年度に低水準だった男女共同参画センター有料貸室利用率も目標を上回る結果となった。 令和5年度で開館20周年を迎えることから、これまでのノウハウを生かした様々な事業を展開するとともに、実施事業の結果を含めた積極的な情報発信により事業内容の見える化を推進し、事業目的や各指標における目標の達成に向けて、より効果的な施設の運営を期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 物価上昇やエネルギー価格高騰で想定外の支出がある中、自主事業の拡充や事業の実施手法の工夫等により、収支状況の悪化を一定程度に抑えている。今後も施設の維持管理コストの上昇が想定されることから、市民サービスの確保を図りつつ、より効率的な施設運営に一層努めていく必要がある。

事業評価 (7) 青少年山の家管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課：教育委員会生涯学習部生涯学習推進課	担当：国奥	電話：011-211-3872
(1)事業内容	①施設・設備等の維持管理に関する業務 ②事業の計画及び実施に関する業務 【青少年の集団生活・野外活動等の指導助言に関する業務】 ・施設団体の活動支援 事前調整・利用打合せ・活動支援・夜間対応・事後 等 ・利用支援・促進事業 小学校の宿泊学習に対する事業（合同説明会、合同下見会、出前授業、利用抽選会） ・提供プログラム 環境教育・社会的課題解決の視点を意識したプログラムの開発・提供 【青少年の集団生活・野外活動等の普及振興に関する業務】 ・体験活動の普及振興・啓発事業 大人も子どもも宿泊学習、空き室活用事業、札幌市林間学校、プログラム体験会、地域連携事業等 ・社会課題に基づく事業 Re：滝野宿泊学習、防災体験事業、生物多様性に係る事業 ・指導者養成事業 ボランティア活動支援事業、インターンシップ受け入れ事業、指導者ワー 【青少年の集団生活・野外活動等の調査研究】 ③施設の利用等に関する業務		市指定管理費(公費) 136,811
(2)事業目的	自然環境の中における宿泊を伴う集団生活、野外活動その他の活動を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	平成22年(2010年) 4月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		191,314	197,273	(+5,959)
		(2.6%)	(2.5%)		
	市補助金・交付金・負担金	450	0	(▲ 450)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	149,922	136,811	(▲ 13,111)	
	市施設利用料金収入	37,743	54,529	(+16,786)	
	自主事業収入(補助金除く)	578	540	(▲ 38)	
	その他収入	2,621	5,393	(+2,772)	
	費用(支出)	176,827	203,621	(+26,794)	
	事業費	172,450	198,394	(+25,944)	
	管理費等	4,377	5,227	(+850)	
	収支差	14,487	▲ 6,348	(▲ 20,835)	
	収支比率	108.19%	96.88%	(▲ 11.31%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	青少年キャンプ事業	3事業12回	3事業3回	6事業29回	
②	生涯学習事業	1事業1回	1事業1回	3事業6回	
③	利用支援・促進事業(事前研修会及び出前授業等)	4事業162回	4事業99回	5事業224回	
④	指導者養成事業	2事業10回	2事業10回	2事業26回	3事業12回
⑤	自主事業(パッケージドプログラム出張事業等)	7事業26回	3事業3回	2事業33回	1事業2回
⑥	小学校の宿泊学習に対する事業				4事業120回
⑦	体験活動の普及振興・啓発事業				6事業20回
⑧	社会課題に基づく事業				3事業5回
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	利用者数(実利用人数)	23,099人	28,000人	34,451人	30,000人
②	閑散期の利用団体数	21団体	20団体	21団体	30団体
③	利用のしやすさに対する満足度	92.1%	88.0%	93.0%	80.0%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度は前年度に続き感染対策を講じての施設運営となったが、豊かな自然環境の中での活動を通じて青少年の健全育成を図るといふ施設の設置目的を十分に理解し、利用者の視点に立った対応を心がけていることにより、高い利用者満足度が保たれている。 学校団体の利用においては、合同下見会のほか、学校の都合に合わせ少人数での個別下見も積極的に実施することで学習効果の高い宿泊学習の実施に寄与しており、引き続き、教育目標を達成するための効果的な体験プログラムについて学校とも連携をしながら検討を行うなど、事業効果を高めていただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用団体の増加に伴い、利用料金収入が大幅に増加したほか、他団体との連携事業や新規プログラムの積極的な実施によりその他収入の増加に繋がっている。また、消耗品費や光熱水費等の支出は増加したが、電気使用量を抑えるなど節約対策も実施しており、引き続き収支バランスを意識した効率的かつ安定的な施設運営に努めていただきたい。

事業評価 (8) 北方自然教育園管理事業

1. 事業概要	事業所管課：教育委員会学校教育部教職員課	担当：山崎	電話：011-211-3802
(1)事業内容	①自然観察・採集等に関する学習機会の提供業務 ②自然体験・展示に関する情報収集及び提供業務 ③市民の自主活動及び交流の支援業務 ④農業体験業務 ⑤教材用生物の提供業務 ⑥自然体験学習の提供業務 ⑦自然観察、飼育栽培に関する研修業務 ⑧自然体験や展示に関する相談業務 ⑨施設利用に関する業務		市指定管理費(公費) 30,438
(2)事業目的	北国の自然環境の中で体験的に学習できる場を提供するとともに、教育及び文化の向上に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	平成22年度(2010年度)		

2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	30,532 (0.4%)	30,753 (0.4%)	(+221)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	30,342	30,438	(+96)	
	市施設利用料金収入	82	150	(+68)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	26	(+26)	
	その他収入	108	139	(+31)	
	費用(支出)	30,615	30,800	(+185)	
	事業費	29,916	29,986	(+70)	
	管理費等	699	814	(+115)	
収支差	▲ 83	▲ 47	(+36)		
収支比率	99.73%	99.85%	(+0.12%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①農業体験業務		22校	40校	64校	65校
②教材用生物の提供業務		642	650	634	650
③自然体験学習の提供業務		4回	16回	16回	16回
④自然観察、飼育栽培に関する研修業務		8回	9回	9回	9回
⑤自然体験や展示に関する相談業務		1件	1件	2件	2件
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①施設利用者数		3,270人	7,500人	8,275人	8,200人
②事業参加者数		418人	650人	594人	600人
③体験農場利用人数		737人	2,000人	2,550人	2,600人
④ボランティア登録数		3人	5人	3人	5人
⑤利用者アンケートにおける総合的な満足度		84.3%	87.0%	90.0%	91.0%
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に係る制限等が少し緩和されたこともあり、利用者数、参加者数が戻りつつある。活動指標、成果指標ともに概ね目標を上回った。 しかしながら、北方自然教育園の設置目的を達成するためには、北国の自然観察体験や園・学校への生物教材の提供、教職員研修事業などに加え、市民の教育及び文化の向上を図るためのさらなる工夫が必要である。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	来場者数が増加し、前年度に比べると収入確保はできているが、十分とは言えない。事業内容や運営に関してより一層の工夫と努力を期待したい。

貸借対照表

2023年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	884,870,736	872,459,237	12,411,499
未収入金	360,052,744	265,623,478	94,429,266
前払金	4,993,288	5,677,503	△ 684,215
流動資産合計	1,249,916,768	1,143,760,218	106,156,550
2 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	698,972,136	693,756,519	5,215,617
OA整備事業積立資産	37,951,424	37,951,424	0
経営安定化積立資産	136,651,875	136,651,875	0
こども基金積立資産	54,920,073	59,388,796	△ 4,468,723
こども若者応援基金積立資産	62,439,948	60,821,491	1,618,457
建物修繕等積立資産	6,642,863	6,642,863	0
市民活動基金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
児童会館等事業積立資産	50,000,000	0	50,000,000
システム保守費用積立資産	68,000,000	0	68,000,000
特定資産合計	1,125,578,319	1,005,212,968	120,365,351
(3)その他固定資産			
建 物	46,513,582	45,274,045	1,239,537
車両運搬具	1,607,319	2,572,551	△ 965,232
什器備品	12,772,479	13,434,829	△ 662,350
土 地	51,862,148	51,862,148	0
電話加入権	161,788	161,788	0
ソフトウェア	55,943,130	54,189,144	1,753,986
敷 金	1,919,118	1,782,618	136,500
リサイクル預託金	59,850	59,850	0
その他固定資産合計	170,839,414	169,336,973	1,502,441
固定資産合計	1,306,417,733	1,184,549,941	121,867,792
資産合計	2,556,334,501	2,328,310,159	228,024,342
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	214,244,899	179,120,425	35,124,474
未払費用	446,008,136	433,800,093	12,208,043
未払法人税等	3,262,700	10,898,000	△ 7,635,300
未払消費税等	95,225,300	84,543,300	10,682,000
前受金	16,123,640	12,307,670	3,815,970
預り金	5,472,999	8,482,239	△ 3,009,240
流動負債合計	780,337,674	729,151,727	51,185,947
2 固定負債			
退職給付引当金	698,972,136	693,756,519	5,215,617
固定負債合計	698,972,136	693,756,519	5,215,617
負債合計	1,479,309,810	1,422,908,246	56,401,564
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	10,000,000	10,000,000	0
こども若者応援基金寄付金	52,439,948	50,822,491	1,617,457
指定正味財産合計	62,439,948	60,822,491	1,617,457
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(52,439,948)	(50,821,491)	1,618,457
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	1,014,584,743	844,579,422	170,005,321
(うち特定資産への充当額)	(374,166,235)	(260,634,958)	113,531,277
正味財産合計	1,077,024,691	905,401,913	171,622,778
負債及び正味財産合計	2,556,334,501	2,328,310,159	228,024,342

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	(0)	(0)	(0)
基本財産受取利息	0	0	0
②特定資産運用益	(25,687)	(25,600)	(87)
特定資産受取利息	25,687	25,600	87
③事業収益	(7,646,028,349)	(7,189,824,886)	(456,203,463)
地域活動等事業収益	206,169,431	168,403,456	37,765,975
受託事業収益	177,184,240	146,472,471	30,711,769
企画事業収益	26,585,841	20,122,685	6,463,156
参加料・受講料収益	2,399,350	1,808,300	591,050
施設運営等事業収益	7,439,858,918	7,021,421,430	418,437,488
指定管理事業収益	4,761,237,730	4,538,186,400	223,051,330
受託事業収益	2,600,156,458	2,426,360,078	173,796,380
企画事業収益	56,729,440	45,247,192	11,482,248
参加料・受講料収益	15,509,950	7,243,740	8,266,210
入場料収益	2,237,900	1,282,500	955,400
物品販売収益	3,987,440	3,101,520	885,920
④受取補助金等	(29,615,180)	(27,654,464)	(1,960,716)
受取助成金	29,615,180	27,654,464	1,960,716
⑤利用料金	(185,356,542)	(126,088,731)	(59,267,811)
施設利用料金	185,039,302	126,088,731	58,950,571
物品利用料金	317,240	0	317,240
⑥受取寄付金	(1,035,078)	(751,838)	(283,240)
受取寄付金	434,535	392,662	41,873
受取寄付金振替額	600,543	359,176	241,367
⑦受取手数料	(6,556,636)	(4,041,868)	(2,514,768)
受取手数料	6,556,636	4,041,868	2,514,768
⑧雑収益	(3,353,292)	(2,420,214)	(933,078)
受取利息	21	9	12
雑収益	3,353,271	2,420,205	933,066
経常収益計(A)	7,871,970,764	7,350,807,601	521,163,163
(2)経常費用			
①事業費	(7,651,399,449)	(7,161,919,891)	(489,479,558)
役員報酬	3,432,132	3,436,405	△ 4,273
給料手当	3,536,248,436	3,440,650,297	95,598,139
臨時雇賃金	975,043,785	936,825,445	38,218,340
退職給付費用	48,321,518	47,052,552	1,268,966
福利厚生費	618,075,445	603,932,541	14,142,904
旅費交通費	23,577,966	10,482,994	13,094,972
通信運搬費	57,028,336	47,128,832	9,899,504
減価償却費	28,661,788	25,424,363	3,237,425
消耗品費	418,280,322	398,384,623	19,895,699
修繕費	59,513,008	51,322,546	8,190,462
印刷製本費	14,274,139	12,101,477	2,172,662
燃料費	69,706,650	65,077,432	4,629,218
光熱水費	220,634,407	187,908,062	32,726,345
賃借料	61,486,237	45,934,349	15,551,888
入場料	266,050	195,000	71,050
保険料	7,269,243	6,856,493	412,750
諸謝金	91,531,342	69,099,269	22,432,073
租税公課	496,426,920	480,866,219	15,560,701
支払負担金	6,409,685	5,243,550	1,166,135
支払寄付金	5,097,400	16,451,490	△ 11,354,090
支払助成金	786,533	0	786,533
委託費	444,792,173	349,443,967	95,348,206
交際費	43,524	25,440	18,084

科目	当年度	前年度	増 減
役務費	191,578,480	178,059,140	13,519,340
支払手数料	2,134,037	3,641,640	△ 1,507,603
備品費	229,202,369	143,469,232	85,733,137
広告宣伝費	40,199,206	31,661,381	8,537,825
会議費	703,408	676,721	26,687
雑費	674,910	568,431	106,479
②管理費	(54,322,306)	(42,128,540)	(12,193,766)
役員報酬	9,962,868	10,019,845	△ 56,977
給料手当	13,360,130	10,360,903	2,999,227
退職給付費用	237,999	217,998	20,001
福利厚生費	4,979,913	4,187,216	792,697
旅費交通費	239,921	192,106	47,815
通信運搬費	2,817,306	1,516,320	1,300,986
減価償却費	1,948,702	1,804,137	144,565
消耗品費	870,823	737,380	133,443
修繕費	59,378	58,691	687
印刷製本費	47,897	38,198	9,699
燃料費	125,505	18,119	107,386
光熱水費	259,532	181,950	77,582
賃借料	4,469,634	2,922,155	1,547,479
保険料	547,239	449,501	97,738
諸謝金	2,554,783	2,487,786	66,997
租税公課	113,780	394,331	△ 280,551
支払負担金	336,049	436,628	△ 100,579
委託費	874,959	874,959	0
交際費	11,226	6,560	4,666
役務費	7,406,253	2,442,661	4,963,592
支払手数料	488,044	365,450	122,594
備品費	2,492,864	2,349,124	143,740
会議費	57,525	13,911	43,614
雑費	59,976	52,611	7,365
経常費用計(B)	7,705,721,755	7,204,048,431	501,673,324
当期経常増減額(C)=(A-B)	166,249,009	146,759,170	19,489,839
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産受贈益	0	5,289,237	△ 5,289,237
受取補償金	10,015,733	67,909,658	△ 57,893,925
経常外収益計(D)	10,015,733	73,198,895	△ 63,183,162
(2)経常外費用			
固定資産除却損	2,996,721	338,258	2,658,463
経常外費用計(E)	2,996,721	338,258	2,658,463
当期経常外増減額(F)=(D-E)	7,019,012	72,860,637	△ 65,841,625
税引前当期一般正味財産増減額	173,268,021	219,619,807	△ 46,351,786
法人税、住民税及び事業税	3,262,700	10,898,000	△ 7,635,300
当期一般正味財産増減額(G)	170,005,321	208,721,807	△ 38,716,486
一般正味財産期首残高	844,579,422	635,857,615	208,721,807
一般正味財産期末残高(H)	1,014,584,743	844,579,422	170,005,321
II 指定正味財産増減の部			
①特定資産受取利息	(687)	(600)	(87)
②受取寄付金	(2,218,000)	(2,068,850)	(149,150)
③一般正味財産への振替額	(△ 601,230)	(△ 359,776)	(△ 241,454)
当期指定正味財産増減額(I)	1,617,457	1,709,674	△ 92,217
指定正味財産期首残高	60,822,491	59,112,817	1,709,674
指定正味財産期末残高(J)	62,439,948	60,822,491	1,617,457
III 正味財産期末残高(K)=(H+J)	1,077,024,691	905,401,913	171,622,778